



市政功労者表彰式・嘱託員連絡会議

市の発展に尽くされた 7人、2団体を表彰

五月三十一日、産業厚生会館で「市政功労者表彰式」と「嘱託員連絡会議」が行われました。市政功労者表彰式では、白根市ほう賞規則に基づき「市政の進展」「産業の振興」「文化の向上」などに功績のあった七人の方々と二団体が、市長から表彰されました。(三人の方は、六月九日の大鷲小学校、六月十一日の小林小学校の竣工式の席上で表彰)

表彰を受けられた方々

【自治功労】
▽小野 忍さん(五十歳・日の出町)
多年、市議会議員として市勢の発展に寄与した功績

▽若槻教永さん(五十二歳・五六の町三)
多年、教育委員として市勢の発展に寄与した功績

【産業功労】
▽山口 晋さん(七十三歳・庄瀬五)
▽小山吉次郎さん(六十九歳・中央通三)
多年、露店市場運営委員として露店市場の運営、振興に寄与した功績

【感謝状贈呈】
▽白根ロータリークラブ(長谷川)

▽小柳イソさん(七十六歳・西笠巻新田二)
大鷲小学校へ児童用図書を送付した功績
▽滝沢憲爾さん(五十九歳・朝捲)
大鷲小学校へグランドピアノを送付した功績
▽佐藤寅平さん(六十八歳・新潟市)
小林小学校へグランドピアノを送付した功績

創立二十周年を記念し、青少年健全育成と福祉の推進のため、多額の寄付をした功績
▽白根ライオンズクラブ(藤崎守会長)
創立二十周年を記念し、社会体育及び学校体育の推進のため、多額の寄付をした功績

【ほう賞規則によらない表彰・感謝状贈呈】
▽古川庄三郎さん(七十五歳・鷲ノ木桜町)
通算十年以上、嘱託員として市勢の発展に寄与

真島さん(一の町出身)が 紫綬褒章を受章



先に広報しろねの「この道この人」で紹介した、真島鉄柱さん(東京都・六十四歳)が、原

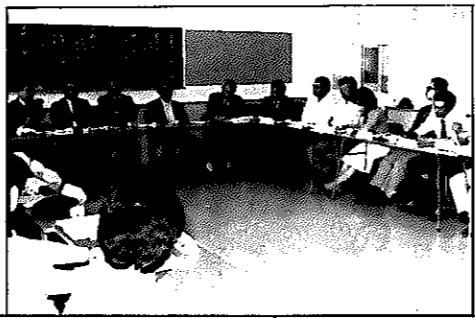
子力産業の発展に貢献した功績が認められ、春の褒章で紫綬褒章を受けられました。

真島さんは一の町出身で、わが国で初めて十進計数放電管による十進法計数装置を開発。また、世界に誇る低バックグラウンドβ線測定装置を開発するなど、わが国の原子力産業の発展に不可欠な放射線測定並びに放射線安全管理等に使用する、放射線測定機器の基礎技術確立しました。

地区民が協力し合い地域生活 センターに植樹—新飯田地区

六月一日、新飯田地区の二十部落が協力し合い、地域生活センター敷地内に植樹を行いました。

嘱託員連絡協議会で「いまのままでは殺風景でしようがない。このセンターを緑がいっぱいの、地区のいこいの場にしよう」との意見が出され、植樹を計画。各部落ごとにチラシを回覧し、地区民から樹木の寄付をお願いしたところ、松、ツツジ、月桂樹など約百本の寄付の申し出がありました。配置や植え方などは、造園技術をもつ土着上の富田誓一さんが指導しました。



子供たちを事故から守ろう 大鷲小で交通安全対策会議

「大型車の交通規制はできないものか」——周辺に迂回路がないから難しい——これは六月七日、大鷲小学校で開かれた交通安全対策会議でのやりとりです。

小・中学生の通学路となっている大鷲小前の県道は、大型車がひんばんに通り大変に危険。子供たちを事故から守るため、歩道ができるまでの間の交通安全対策を考えようと、開かれたものです。会議には地区の交通安全協会、交通安全母の会、PTA、それに警察など関係者約三十人が出席しました。

「スピード制限は」「待避場所を作ったらどうか」「通る車が詰まっているので、そのドライバーに登下校の時間帯はより一層の安全運転をお願いしよう」など、活発な論議がされました。これからは、学区一体となり事故防止運動を行っていくことにしています。

親子のふれ合いを大切に 白井小で親子竹馬作り教室

五月二十九日、白井小学校で「親子竹馬作り教室」が開かれました。これは、親子のふれ合いを育てると共に、手作りの良さを再認識しようと企画されたもの。

この日は二百二十一人の全校児童に、お父さん、お母さんが参加。体育館や廊下、特別教室を使って作業開始。最初に竹馬の種類や使い方の説明を受けた後、佐渡の真竹や板、麻縄などを使って親子で竹馬作りに取り組みました。臨時作業場となった体育館などからは、カナツツの音に子供たちの笑い声も交じり、とてもにぎやか。

「竹馬は、子供たちの平衡感覚を養う上でも大変いいですよ。体育の授業にも、取り入れてみようと考えています」と、田村喜徳教頭は話していました。



議会の動き

六月定例市議会

六月定例市議会が、六月十六日から二十二日まで開かれ、固定資産評価委員の選任や五十八年度老人保健特別会計補正予算など四議案を審議。いずれも原案どおり同意、可決しました。

また、今議会で産米に関する問題を調査研究し、これを推進するため、産米対策特別委員会が設置されました。

固定資産評価委員に田中さん

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、後藤勇一郎さん(六十七歳・下鷲ノ木)に代わり、田中 清さん(六十三歳・松橋)が選任されました。任期は三年です。

国保条例の一部改正

医療費の上昇や被保険者の所得の増加などから、国民健康保険税の課税限度額を、十七万円から二十八万円に引き上げました。

低所得者世帯の減額については、五十八年度においても、前年度に引き続き、基礎控除額を二十四万円に据え置きます。また、これらの世帯に属する被保険者に乗する

金額を、一人につき五千円引き上げ、十八万五千円に改正しました。所得割などの税率、被保険者均等割並びに世帯別平等割額などについては、課税総額が前年より減額されていること及び、総所得金額が前年を上回っていることから、関係する条例を改正しました。

老人保健特別会計を補正

五十八年度老人保健特別会計の歳入、歳出にそれぞれ一千百三十七万円を追加、予算総額は十億三千八百九十七万円となりました。五十七年度予算において、医療費の実績が予算に対して一千四百十九万円の減となりました。このことと合わせて、支払基金等への返還の納期が八月末日であることから、国庫負担分、県負担分、支払基金負担分の合計一千百三十七万円を補正しました。

決議・請願

五十八年度産米産者米価を、六〇キロ当たり二万九千九百六十五円とする内容の決議が原案通り可決され、要領書を政府や関係機関へ送付することになりました。また、老人保健法の実施に伴う老人の医療並びに保健事業の拡充強化を求める請願は、閉会中の継続審査となりました。